## 消防士が 酒気帯び運転

飲酒運転

こんなことで、自分の人生を「棒に振ってよいのか」

## 飲酒運転

<u>平穏な日常を、一瞬で悲劇</u>に変えてしまいます

## 消防士の男性が酒気帯び運転 停職6カ月の懲戒処分 男性は依願退職

緑茶ハイを2、3杯 「住民の生命と財産を守る消防職員が・・・」

2024/2/19(月)

北海道内の消防士が酒気帯び運転で警察に検挙されたとして19日、停職6カ月の懲戒処分としたと発表しました。

男性は処分を受けて依願退職しました。

処分を受けたのは消防署の20代の男性消防士です。

男性は去年12月28日午後9時頃、市内の飲食店に知人らと入店し、入店後まもなく緑茶ハイを2、3杯ほど飲んだということです。

男性はその後は飲酒せず、<mark>酔いを覚ますために水やお茶</mark>を飲んでいたということです。

29日午前2時頃、男性は自宅に帰るため車を運転していたところ警察に検 挙されました。その際、アルコール濃度は酒気帯び運転の基準を超えてい たということです。

消防長は「<mark>住民の生命と財産を守る消防職員が、酒気帯び運転</mark>をしたことは、誠に遺憾であり重く受け止めております。」などとコメントしています。